

# 中学校 全学年

# 【戦争と平和 2】

☆こんな本を希望

## ヒロシマ・ナガサキに関する本

☆図書館で準備できる本 (全36冊)




	書名・著者・出版社	内容
1	つる サダコの願い (世界子ども平和図書館 2 ) エリナー・コア/文:エド・ヤング/絵:こだまともこ/訳 日本図書センター 2005.6	広島市の平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデル佐々木禎子さんって、どんな女の子だったのでしょうか？ 世界中で読みつかれている SADAKO(原爆症で亡くなった佐々木禎子)の絵本。
2	ノーモアヒロシマ・ナガサキ 原爆写真 黒古一夫/編:清水博義/編:James Dorsey/訳 日本図書センター 2005.3	原子爆弾を投下された広島・長崎の惨禍・悲劇を記録した写真集。平和の原点であると同時に、人類が直面している「核時代」の原点に立ち返り、日本・世界の未来を考える。
3	永井隆 平和を祈り愛に生きた医師 中井俊己/著 童心社 2007.6	ねがわくば、この浦上をして世界最後の原子野たらしめたまえ。白血病を背負い、原爆の被害にあいながらも、医者として力をつくし、たくさんの本を書きながら平和を訴え続けた医師・永井隆の生涯をたどる。
4	少年口伝隊一九四五 井上ひさし/著, ヒラノ・トシユキ/絵 講談社 2013.6	原爆投下後のヒロシマ。新聞のかわりにニュースを伝えて歩く「口伝隊」の少年たちがいた。戦争、災害、放射能の中で、懸命に生きようとした少年たちを描いた井上ひさしの朗読劇を、印象的なイラストとともに単行本化。
5	いしばみ 広島二中一年生全滅の記録 広島テレビ放送/編 ポプラ社 2015.7	昭和 20 年 8 月 6 日、原爆によって、広島二中の 1 年生たちはどのようにして死んでいったのか。 昭和 44 年度芸術祭のテレビドラマ部門で優秀賞を受賞した、広島テレビ放送制作の「碑」をもとに書籍化。
6	禎子の千羽鶴 戦争ノンフィクション (戦争ノンフィクション ) 佐々木雅弘/著:くまおり純/装画・本文・イラスト 学研 2013.7	1945 年、広島市に投下された原爆によって被爆し、原爆症を発症。12 歳で亡くなるまで、弱音を吐くこともなく、周囲の人を思いやりながら千羽鶴を折り続けた、佐々木禎子さんの真実の物語を実兄が綴る。
7	シリーズ戦争孤児 5 原爆孤児 ヒロシマの少年、ナガサキの少女 汐文社 2015.3	戦争末期の原子爆弾投下で親兄弟を失った原爆孤児たちの様子を多数の写真とともに伝えます。



ヒロシマ・ナガサキ


8	<p>平和を考える戦争遺物 5 広島・長崎・空襲 汐文社 2014.3</p>	<p>生まれたときにはもう戦争が始まっていて、平和の時代を生きることができなかった少年少女たちを中心に、原爆と空爆について説明する。</p>	
9	<p>わたしたちの戦争体験 7 原爆 田代脩/監修:日本児童文芸家協会/著 学研教育出版 2010.2</p>	<p>戦争体験を伝え、戦争について考えるきっかけとなる本。7は原爆に関する体験者の証言や、当時の様子などを物語で紹介する。</p>	
10	<p>8月6日のこと 中川ひろたか/文:長谷川義史/絵:中川うみ/英 訳:アレクサンダー・モロゾフ/英訳 ハモニカブックス 2011.7</p>	<p>絵本作家・中川ひろたかが、広島で亡くなった自分の伯父、被爆者となった自分の母の体験を伝える。子どもたちに「核と平和」を問いつける絵本。</p>	
11	<p>ヒロシマ 8月6日、少年の見た空 12歳5か 月の戦没者 戦争ノンフィクション物語 井上こみち/文:すがわらけいこ/絵 学研教育出版 2015.5</p>	<p>8月6日の朝、「行ってまいります」と小さく右手をふって出かけた杜夫は、原子爆弾によって12歳5か月の命を落とした…。杜夫とその家族のかけがえのない日々と、愛しい者をうばわれた悲しみの記録。見返しに地図等あり。</p>	
12	<p>Garden 8月9日の父をさがして 森越智子/作:大野八生/絵 童心社 2025.6</p>	<p>父さんは、伝えたかったはずだ。8月9日、長崎で起きたことを。被爆地で生き抜いてきた父の思いと、隠し続けられたぼくの名前の秘密。やがて解き明かされる真実にたどり着いたとき、ぼくは…。</p>	
13	<p>汽笛 長崎源之助/作:石倉欣二/絵 ポプラ社 2008.6</p>	<p>アジア太平洋戦争が終わり、日本に帰ってきた兵隊さんは長崎の病院に入院した。そこで出会ったのは、火傷がひどくても、腕がなくても、たくましく生きる子どもたち。原爆孤児と元兵隊の交流を描いた、平和への祈りの物語。</p>	
14	<p>水平線のかなたに 真珠湾とヒロシマ (講談社・文学の扉) ロイス・ローリー/著:田中奈津子/訳:ケナード・パーク/画 講談社 2023.6</p>	<p>ふたりそれぞれがながめていた水平線で、戦争がはじまり、戦争が終わる。若いふたりの人生がまじわる。第二次世界大戦、真珠湾、広島の人々の生きざまや、その時があったかを、自身の経験をおりませながら綴る。</p>	
15	<p>平和のたからもの 大きく育て、被爆くすの木の子 どもたち! (くもんのノンフィクション児童文学) 寺田志桜里/文・絵 くもん出版 2001</p>	<p>長崎市の山王神社には、原子爆弾によっていったんは死んでしまった2本の大きなくすの木があります…。奇跡的によみがえった「被爆くすの木」と出会い、苗木を譲られた少女が平和の大切さを謳う、感動の記録。</p>	
16	<p>八月の光 朽木祥/作 偕成社 2012.7</p>	<p>あの朝、ヒロシマでは一瞬で7万の人びとの命が奪われた。原爆投下のあとを生き抜いた10代の若者たちは、生き残った哀しみを記憶することで生きる力を得ようとする。魂の救済の物語全3編。</p>	
17	<p>光のうつしえ 広島 ヒロシマ 広島 朽木祥/作 講談社 2013.10</p>	<p>夏の夜、川には灯籠が流れる。仏壇の前で涙を流す母、同じ風景ばかりを描く美術教師。中学1年生の希未は、今までよく知らなかった、広島に原爆が落ちた“あの日”のことを、周りの大人たちから聞かせてもらうことに…。</p>	

ヒロシマ・ナガサキ

18	あの日、広島と長崎で 写真物語 平和博物館を創る会/編 平和のアトリエ 1994.8	1945年8月6日午前8時15分広島、そして8月9日午前11時2分長崎へ原爆が投下された。50年後の今も生き残った被爆者の苦しみは続き、この地球上から核兵器はなくなっていない。写真と絵と文章による原爆の記録。 
19	原爆の子 広島の子のうたのうたえ 上・下 (ワイド版岩波文庫) 長田新/編 岩波書店 2010.8	1945年、広島・長崎に投下された原爆による災害は、史上かつてない惨事として、今日もなお深い爪痕をのこしている。自らも広島で被爆した編者が平和教育のために編集した原爆体験手記。
20	ひろしま 石内都/著 集英社 2008.4	花柄のワンピース、水玉のブラウス、テーラーメイドの背広、壊れたメガネ。写真家・石内都が、広島平和記念資料館に収蔵されている被爆遺品を撮影。美しいから辛い、可憐だからむごい。広島的心模様が残る写真集。
21	ヒロシマの歌 (フォア文庫) 今西祐行/作:遠藤てるよ/画 岩崎書店 1982.7	原爆記念日、私は15歳になったヒロ子に、原爆に被災した実の母の最期の話をし、当時から保管していた名札を渡す。そして当時のことを...
22	野坂昭如戦争童話集 2 凧になったお母さん 野坂昭如/文:黒田征太郎/絵 新潮社 1995.6	昭和二十年八月十五日。空襲のため炎に包まれた公園に追い込まれた母と子。母は子の肌を炎の熱から守るため、汗や涙やお乳を子の肌に塗るが、やがてそれも尽きて…。戦争の中で死んでいった人と動物たちの物語 3編。
23	八月二日、天まで焼けた 母の遺体を焼いた子どもたち 奥田史郎/著:中山伊佐男/著:高木敏子/解説: 勝又進/絵 高文研 2015.8	12歳で母を奪われ:奥田史郎/著 悲しみを捨てた町:中山伊佐男/著 もう一つの「ガラスのうさぎ」:高木敏子/著 昭和20年8月6日、北陸の街・富山で2人の少年が、それぞれ母の遺体を、空襲の焼け跡の廃墟に立って焼いていた。むごく悲しいあの日の体験を語る。同様の体験を持つ高木敏子の解説も収録。
24	綾瀬はるか「戦争」を聞く (岩波ジュニア新書) TBS テレビ『NEWS23』取材班/編 岩波書店 [1] 2013.4 [2] 2016.7	広島出身の女優・綾瀬はるかが、広島、長崎の被爆者や、沖縄戦の関係者らのもとを訪ねて聞いた戦争の記憶。TBS テレビ「ヒロシマ」および「NEWS23 クロス」シリーズを書籍化。
25	15歳のナガサキ原爆 (岩波ジュニア新書) 渡辺浩/著 岩波書店 2002.11	原爆が落とされると、街や人はこうなるのだよ。戦艦武蔵の建造に胸おどらせた少年はやがて軍事教練、勤労働員、空襲と戦争の渦に巻きこまれる。そして15歳の夏、人類史上類例のない悲劇は起こった。今こそ語りたい、あの日に見た地獄のこと、死んでいった同級生のこと…。平和をになう若者たちへの渾身のメッセージ。

<p>26</p>	<p>1945年8月6日 ヒロシマは語りつづける (岩波ジュニア新書)(新版) 伊東壮/著 岩波書店 1989.5</p> 	<p>広島への原爆投下からほぼ半世紀, 人類は核のない世界めざして大きく一步をふみだしました。侵略戦争にかりたてられた日本人が原爆被害を浴びるまでの歴史と惨状を中学生の目で死体から見た風景を想像して再現, そして絶滅の危機を感じた世界の人びとが「ノーモア・ヒロシマ」の訴えを受けとめて核廃絶に立ち上がるうねりを克明に語ります。</p>
<p>27</p>	<p>ひろしまのピカ (記録のえほん1) 丸木俊/文・絵 小峰書店 1980.6</p>	<p>広島原爆体験が目の前で広がるような、後世に伝え継ぐべき悲惨な原爆の記憶を描いた絵本。</p>
<p>28</p>	<p>語り伝えるヒロシマ・ナガサキ ビジュアルブック 第1巻 あの日、家族が消えた! 広島への原爆投下 2004.10 第2巻 天主堂も友達も消えた! 長崎への原爆投下 2004.10 第3巻 原爆はなぜ落とされたのか? 2004.11 第4巻 あの日を忘れない 被爆体験を語り伝える-広島編 2004.12 第5巻 平和をひろげよう 被爆体験を語り伝える-長崎編 2004.12 安斎育郎/文・監修 新日本出版社</p>	<p>原爆被爆の実相と平和の尊さを伝えるビジュアルブック。戦後60年、被爆60年記念出版。第1巻では、広島への原爆投下を取りあげ、原爆前後の広島、証言を基にした被爆体験を紹介する。第2巻では、長崎への原爆投下を取りあげ、原爆前後の長崎、証言を基にした被爆体験を紹介する。第3巻では、「悪魔の兵器」原爆の誕生、日本投下の理由、日本の加害責任を検証し、平和にむかって私たちの行動を考える。第4巻では、広島で被爆体験を語り伝える人々や、世界へ被爆の惨禍を訴える活動を紹介する。第5巻では、長崎で被爆体験を語り伝える人々や、世界へ被爆の惨禍を訴える活動を紹介する。</p>
<p>29</p>	<p>わたしがちいさかったときに 原爆の子 他より (若い人の絵本) 長田新ほか/著:岩崎ちひろ/画 童心社 1980</p>	<p>1945年8月6日、炎の中で両親や友を失った被爆者たちの詩と作文に、鎮魂の絵を添える。この絵本は、広島で被爆した子どもたちが体験をつづった詩や作文に、ちひろが絵をつけたものです。取材旅行で広島を訪れたちひろは、亡くなった人々を思い、一睡もできませんでした。</p>
<p>30</p>	<p>八月 原爆詩集 合同出版編集部/編 合同出版 2008.8</p> 	<p>げんしばくだんがおちると ひるがよるになって人はおばけになる(「げんしばくだん」より) 1945年8月の広島、原爆を直接体験した子どもたちが、そのときの恐怖と悲しみを託した詩と、原爆詩人の作品を紹介する。</p>
<p>31</p>	<p>シゲコ! ヒロシマから海をわたって 菅聖子/著 偕成社 2010.8</p>	<p>少女時代に広島で被ばくし、アメリカにわたったシゲコ。子どもたちに愛と勇気と笑顔をとどけ、いのちの大切さを語りつづけるシゲコの半生を追いかけたノンフィクション。</p>

ヒロシマ・ナガサキ

<p>32</p>	<p>第二次世界大戦 10 ヒロシマ・ナガサキの原爆 江口朴郎/監修 太平出版社 1985.11</p>	<p>1 「エノラ・ゲイ」、テニアン基地を発進 2 八月六日朝の広島 3 ピカッ、ドーン 4 どれだけの人命がうばわれたか 5 「マンハッタン計画」 6 さいごの切り札としての原爆 7 悪魔の実験 8 かけひきのはての原爆投下 小学校高学年～中学生に向けて、原爆について説明する。</p>
<p>33</p>	<p>長崎を忘れない 渡辺千恵子/作:東本つね/絵 草土文化 1980.7</p>	<p>一九四五年八月九日、広島について二つめの原爆が長崎に落とされました。いたいけな幼い子どもから老人にいたるまでの無差別殺人でした。生き残った被爆者は、その後さまざまな辛酸と苦痛を受け、子や孫までつづく不安にかられています。絵本ですが、原爆の被害の凄まじさが描かれています。</p> 
<p>34</p>	<p>原爆詩集（平和文庫） 峠三吉/著 日本ブックエース 2010.7</p>	<p>ちちをかえせ ははをかえせ としよりをかえせ こどもをかえせ わたしをかえせ わたしにつながる にんげんをかえせ(「序」より) 広島で原爆に被災した詩人・峠三吉の詩集。</p>
<p>35</p>	<p>わすれないヒロシマ・ナガサキ 1 原爆はなぜ落とされた 2025.4 2 核兵器のない世界へ 2025.5 安斎育郎/文・監修 新日本出版社</p>	<p>1では第二次世界大戦の末期にアメリカで開発され、広島と長崎に投下された原爆。なぜ原爆が日本に投下され、どのような被害をもたらしたのかを解説し、原爆をなくしていくためにどのような課題があるのかを考える。2では核兵器のない世界をつくるために何ができるのか。核のボタンが押される寸前だった事件や、日本の被爆の声、国連で採択された核兵器禁止条約、広島と長崎の慰霊の日の様子、原爆を知るための資料などを紹介する。</p>
<p>36</p>	<p>小さな祈り 全詩英訳 詩画集 男鹿和雄/画:吉永小百合/編 汐文社 1998.1</p>	<p>峠三吉・林幸子・原民喜など 12 編の原爆の詩が、平和の祈りと生命の重みをうたいあげる詩画集。女優・吉永小百合が企画・構成・選曲し朗読する CD「第二楽章」に収録されている詩が美しい絵と結ばれて単行本化。英訳付き。</p>